

## 第31回東海高等学校新人大会

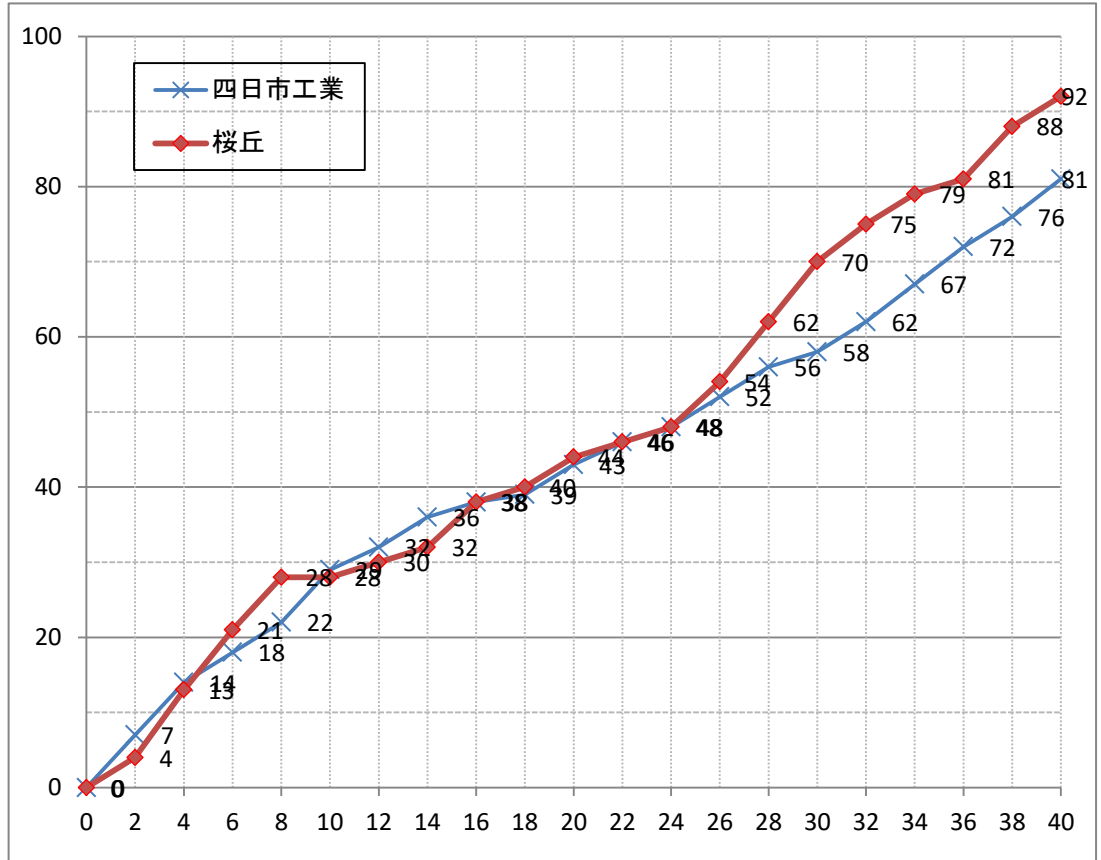
男子3位決定戦	
試合日	2018/2/11
会場	一宮市総合体育館
コート	B
開始時間	14:30

TEAM A		TEAM B
四日市工業	81	桜丘
三重1位		愛知2位
	29 - 28	
	14 - 16	
	15 - 26	
	23 - 22	
	OT	

TEAM A		四日市工業		三重1位			
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		三谷 啓吾	-	-	-	-	-
5		野浪 明人	-	-	-	-	-
6	*	水谷 祐葵	35	4	8	7	4
7	*	西田 航	13	0	4	5	5
8		小村 和馬	-	-	-	-	-
9	*	野田 巧真	13	1	3	4	1
10	*	小野 元暉	15	2	4	1	4
11	*	吉門 広晶	3	0	1	1	2
12		中川 貴晶	2	0	1	0	0
13		角前 太征	-	-	-	-	-
14		水本 宗麿	-	-	-	-	-
15		水谷 航	0	0	0	0	0
16		尾崎 郁弥	-	-	-	-	-
17		原田 琉成	-	-	-	-	-
18		水越 慎吾	-	-	-	-	-
TEAM/COACH			/	/	/	/	-
TOTAL			81	7	21	18	16

TEAM B		桜丘		愛知2位			
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		中澤 寛哉	0	0	0	0	3
5		原田 宗輝	4	0	2	0	2
6	*	小嶋 涼斗	3	1	0	0	5
7		大竹 敬也	0	0	0	0	0
8		藤田 龍之介	0	0	0	0	0
9	*	富永 啓生	45	4	13	7	3
10		大津 颯斗	-	-	-	-	-
11	*	村口 宗羅	14	0	7	0	3
12	*	ラポラス ベンツロバス	18	0	9	0	4
13		伊藤 唯翔	-	-	-	-	-
14		荻原 隆輔	0	0	0	0	1
15	*	宮田 大也	8	0	4	0	3
16		東 亜々人	0	0	0	0	0
17		木村 貴郎	-	-	-	-	-
18		山本 星矢	0	0	0	0	3
TEAM/COACH			/	/	/	/	-
TOTAL			92	5	35	7	27

### 【 得点経過 】



### 【 戦評 】

第1P 四日市工業ボックス&ワン、桜丘ハーフコートマンツーマンでスタート。四日市工業は#7西田と#11吉門のハイ&ローとカッティングを中心に得点していく。対する桜丘は#9富永のシュートを中心に得点していく。お互いに一進一退の攻防が続く中、桜丘は#9富永の3Pシュートと#15宮田のゴール下で一歩リードする。離されたくない四日市工業はファウルで得たフリースローを確実にものにして29-28で四日市工業のリードで第1P終了。

第2P 桜丘は#12ラポラスのゴール下シュートや#11村口の絶妙なアシストで得点、対する四日市工業は#7西田のポストプレイで得点していく。お互いに譲らぬまま43-44で四日市工業のリードで第2P終了。

第3P 開始1分桜丘は四日市工業のオフェンスにアジャストし始め、ディフェンスからファストブレイクで逆転する。しかしすぐさま四日市工業#6水谷の3Pシュートで主導権を渡さない。桜丘は#9富永が要所で1対1決めるが、すぐさま四日市工業#10小野のジャンパー、#6水谷の1対1で取り返す。しかし疲れの見える四日市工業は徐々にシュートが落ち始め、その隙を見逃さない桜丘はファストブレイクから得点しリードを徐々に広げる。残り3秒には#9富永のこの試合4本目の3Pシュートが決まり70-58で桜丘が再逆転して第3Pを終了。

第4P これ以上離されたくない四日市工業は#10小野の3Pシュート、#6水谷のカッティングから得点し、残り5分を残して点差を7点とする。しかし、桜丘#12ラポラスがゴール下をしっかりと決め落ち着きを取り戻す。その後も四日市工業#10小野がジャンパーや3Pシュートで応戦するも、桜丘#9富永が要所のシュートを決め92-81で桜丘が勝利した。2日間の激戦を戦った両チームに拍手を送りたい。

記入者 葛西 太勝